



財団法人 日本鳥類保護連盟

による「美しい森林づくり」に向けた取組



野鳥の保護を通じた自然環境保護への取組

自然環境の保護という観点では森林だけではなく川や海も大切ですが、その中で鳥にとっていちばん重要な生息環境の代表が森林で、日本鳥類保護連盟の課題としては、野鳥が安心して生きられる環境をいかに守って良くしていくかということです。

鳥にとって大切な生息地、 森林を守るための普及啓発

活動の基盤は、鳥類を中心とする身近いきものを保護するための普及啓発です。環境省や各都道府県とともにやっている「全国野鳥保護のつどい」などの他、「愛鳥週間」用のポスター原画コンクールや、森林や水

辺などの自然保護の普及と実践活動にも積極的に取り組んでいます。

もっと広く、森林と野鳥の 関わりの深さを知ってもらいたい

「美しい森林づくり全国推進会議」に参加してからは、機関誌「私たちの自然」で“野鳥のための森林づくり”という特集を組み、『森林づくりは野鳥の生息環境づくりである』ことを訴えかけました。今後も鳥類に限らず昆虫など身近いきものに関する情報を掲載し、森林と野鳥の関わりの深さについて多く方に知っていただけるよう、普及啓発を推進していく考えです。

【取組】全国展開

「全国野生生物保護実績発表大会」での 林野庁長官賞の設定

学校、団体などにおいて児童・生徒が中心となって行われる野生生物保護活動などを発表する場として、毎年「全国野生生物保護実績発表大会」を開催。林野庁長官賞を設けて、鳥類保護を通じた森林環境保全の普及啓発や活動を図っています。



▶「第42回全国野生生物保護実績発表大会」林野庁長官賞受賞の新潟県上越市立明治小学校、兵庫県尾崎市立成良中学校の発表

【取組】地域での展開など

会員等による森林づくり活動への 参加・講習

各地で行われる森林づくりに会員等が参加。茨城県では会員である日本ハム株式会社の筑波山での森林づくりの活動で、野鳥の解説や巣箱の設置方法の講習などを行っています。



▶筑波山での森林づくり活動に参加
(左)野鳥の解説
(上)散歩道の整備

財団法人 日本鳥類保護連盟

昭和22年に発足した「日本鳥類保護連盟」は昭和37年に常陸宮殿下に総裁にご就任いただき、環境省や地方公共団体と連携しつつ、企業や一般の方々のご協力、ご参加のもと、野鳥の保護を通じて自然保護に取り組み、人と自然が共生できる社会を目指している。

【問い合わせ】〒166-0012 東京都杉並区和田3-54-5 第10田中ビル3F TEL:03-5378-5691 FAX:03-5378-5693 <http://www.jspb.org/>